ＩＡＳＢ概念フレームワーク公開草案等の
コメント対応（基本概念ＷＧの再開）について

○　ＡＳＢＪは、東京合意に基づき、目先の課題についてのコンバージェンスを急ぐとともに、業績報告、収益認識、資産・負債の区分、連結範囲等の重要課題の検討についての関与をより深めてゆく方針を決めているが、これら重要プロジェクトと不可分の関係にあるＩＡＳＢの概念ＦＷの見直しの検討プロジェクト（ＦＡＳＢとの共同プロジェクト）に対しても、きちんとした意見発信を行っていくことが重要な課題となる。

○　ＩＡＳＢは、概念フレームワークの検討をいくつかのフェーズに分けて進めており、下記のように、順次、公開草案や討議資料の公表を予定している。これらに対して、説得力のある高品質な内容のコメントをまとめてゆくことが当面の課題となる。

○　これらのコメント案の作成にあたるため、万代委員を座長として基本概念ＷＧを再開したい（若干の退任メンバーの補充を行う）。

（概念フレームワークに関するＩＡＳＢの作業計画）

フェーズ		2008 年		2009 年	特徴等
		１Ｑ	４Ｑ		
A	目的 質的特性	ＥＤ			・信頼性　⇒　表現の忠実性 ・目的適合性と表現の忠実性（信頼性）との間のトレード・オフ関係の消滅 ・経済的単一体説の採用（幅広い利用者の想定との整合性）（　⇒　報告企業のＤＰへ？）
B	構成要素 認識			ＤＰ	・資産・負債の定義における、「現在性」の強調
C	測定		ＤＰ		・表現の忠実性（資産負債の現在の価値の忠実な表現）等の質的特性による、測定属性候補の序列付け ・測定属性の簡素化（単一属性への指向）
D	報告企業	ＤＰ			
その他		表示・開示、概念ＦＷの地位、非営利企業への適用等			

※　コメント期間は１２０日程度となる予定。

※　完成したものから、順次現行のＩＡＳＢ（ＦＡＳＢ）の概念ＦＷの該当部分を新しいものに置き換えていく方針。

(財)財務会計基準機構の Web サイトに掲載した情報は、著作権法及び国際著作権条約をはじめ、その他の無体財産権に関する法律並びに条約によって保護されています。許可なく複写・転載等を行うことはこれらの法律により禁じられています。